

令和3(2021)年4月22日

第2回総合計画審議会

## 第2回防災・生活・環境分科会 概要報告

内 容	概 要
<p style="text-align: center;">主な意見 質疑・応答</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難所におけるコロナ対策は、人数当たりの収容面積の拡大と備蓄段ボールによるパーティションの準備がある。</li> <li>・防災ガイドブックの各家庭での活用や、町内会の実情に合わせて説明を行うなど、今後も周知に努める。</li> <li>・災害に対する知見を持つ防災士や、地域に詳しい消防団の活動と、民間活力や自主防災組織との連携を図ることで、効果が高まる。</li> <li>・人口減少と、自家用車中心の生活様式による路線バスの減便と、輸送業界の運転士不足と高齢化という問題がある。</li> <li>・地域の実情に合わせた公共交通のあり方について、事業者や関係機関と連携した対応が必要である。</li> <li>・運転手の確保を含めた事業者の努力も既に多大なものがあり、公共交通を維持するためには、公共交通の必要性について市民の進んだ理解が必要不可欠である。</li> <li>・高齢者の運転免許返納後の生活の足の確保についても、配慮が必要である。</li> <li>・除雪車のオペレーター不足や、大雪となった時に優先すべき道路の見直し及び郊外と市街地の対応の連携など、除雪体制を引き続き検討していく。</li> <li>・一般住宅新築時の創エネ・省エネ及びリフォームに対する耐震・克雪への補助などを行っている。</li> <li>・地域エネルギー会社設立のメリットと、会社の機能や役割を市民に周知していく。</li> </ul>
<p style="text-align: center;">他の分野や分科会に 関係する分野横断的な 事項</p>	<p style="text-align: center;">特記なし</p>
<p style="text-align: center;">次回分科会に持ち越しと なった事項</p>	<p style="text-align: center;">特記なし</p>

## 第2回産業・雇用分科会 概要報告

内 容	概 要
<p>主な意見 質疑・応答</p>	<p><u>地元活性化に向けた人材確保・育成</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工業高校への進学が減少し、産業人を育成する機会が減っていることを危惧している。</li> <li>・市内に2大学があるのは強みであるが、市内企業をあまり知らないために、地元就職が少ないのではないか。市が若者を呼ぶ機会を作りPRすべき。</li> </ul> <p><u>地元企業・商店街の活性化</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワークの増加に対応することが課題だが、ニーズを見極めて取り組みたい。</li> <li>・企業誘致は、地元企業の拡大による進出が重要であり、市内企業に仕事を卸してくれる企業が良い。</li> <li>・中心商店街について、駐車場活用や駅前エリアへの人の流れの変化への対応などにより活性化に結び付ける必要がある。</li> <li>・自動車産業の転換期であり、柏崎は自動車関連産業が中心のため、その対応が非常に重要だ。</li> </ul> <p><u>地元農林水産業の活性化</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブランド米の評価は高いが市内販売中心であるため、市外へ向けてインターネット販売の活用を強化すべきだ。</li> <li>・漁業の人材確保は公的な就労者支援がある一方、受入側が個人中心で体制ができていないことが課題である。</li> <li>・地元の観光地、農産物、海産物を組み合わせて価値を上げ、観光産業に活用することも重要だ。</li> </ul>
<p>他の分野や分科会に 関係する分野横断的な 事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性も働きやすい環境を整えるため、男性の育児休業取得を促進し、ワーク・ライフ・バランスの推進に力を入れるべきだ。 → 自治経営分科会</li> </ul>
<p>次回分科会に持ち越しと なった事項</p>	<p>特記なし</p>

## 第2回健康・福祉分科会 概要報告

内 容	概 要
<p>主な意見 質疑・応答</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康づくりにおける企業としての役割や地域の担い手となる人への理解促進と育成の場（機会）が必要ではないか。</li> <li>・市民が自ら健康を意識し、健康に導ける工夫が必要である。</li> <li>・高齢者を多く抱える市として、健康づくりの先進的対策を進めるモデルシティとしての位置づけを目指すことが必要ではないか。</li> <li>・看護師の人材不足は、地元の若者が減少しているため、外に求めていく必要がある。</li> <li>・柏崎常盤高校から新潟病院附属看護学校への進学者が多いが、常盤高校の学級が減少すると、看護学校への進学も減少してしまうことから、教育の視点でも考えていく必要がある。</li> <li>・婚活イベントは、タブレットによるオンライン参加を構築できると良いのではないか。</li> <li>・婚活イベントをSNS等で情報発信してはどうか。</li> <li>・コロナ禍で子育てを行っている母親への集団指導は難しいため、オンラインによる方法を検討してはどうか。</li> <li>・民間施設が子どもを預かる機能を導入することに対して、市の後押し（連携）が必要ではないか。</li> <li>・将来に生きにくさを抱えている人（障がい者、罪を犯した者、8050問題など）が、社会参加できるよう、NPOや民間と連携して仕組みづくりが必要ではないか。</li> <li>・コツコツ貯筋体操を10年間続けてきた効果が表れてきている。その効果を市民にPRしていくべきではないか。</li> </ul>
<p>他の分野や分科会に関係する分野横断的な事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災行政無線について、災害時など非常時の際は耳に不自由があると聞こえないため、情報保障など具体的な案を出してほしい。また、外国人や子どもに理解できるような言葉で発信してほしい。 →防災・生活・環境分科会</li> <li>・高齢者の健康を考えると、スポーツ、食事及び地域社会への参加も重要であるが、買い物に行ける環境づくりも重要である。 →防災・生活・環境分科会</li> </ul>
<p>次回分科会に持ち越しとなった事項</p>	<p>特記なし</p>

## 第2回教育・スポーツ分科会 概要報告

内 容	概 要
<p>主な意見 質疑・応答</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレット一人1台環境を整備したことについて、学校や家庭における差が出てくることのないように配慮が必要である。</li> <li>・タブレットにより、これまでできなかった学習方法や内容を取り入れることなど、子どもたちの将来に活かしてもらいたい。</li> <li>・食の大切さを考える授業では、食＝命を頂くということ、食に至るまでのプロセスも含めて教えるべきである。</li> <li>・キャリア教育の推進において、コロナ禍でオンラインによる講演が可能となったことなどからも、市内・市外の多種多様な人材を活用することが課題である。</li> <li>・子ども達が地域に誇りと愛着を持つということに関しては、無理に柏崎にとどめるのではなく、市外に出ても柏崎に愛着を持っていてほしいという余裕を持った示し方が良い。</li> <li>・(SNSによる) いじめの要因の一つとして、LGBTが挙げられると思う。LGBTについて考える機会を持つなど、広く対応していく必要がある。</li> <li>・スポーツの技術力向上に向けた取組の課題として、選手や指導者のけがの予防、女性がスポーツに携わる環境への配慮、合宿の誘致について検討が必要である。</li> </ul>
<p>他の分野や分科会に 関係する分野横断的な 事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ合宿の誘致について、柏崎は、施設が充実しておりコンパクトに集中していることや、観光にもつながることから、施設の有効活用も含めて検討してもらいたい。 →産業・雇用分科会</li> </ul>
<p>次回分科会に持ち越しと なった事項</p>	<p>特記なし</p>

## 第2回魅力・文化分科会 概要報告

内 容	概 要
<p>主な意見 質疑・応答</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シティセールス協議会の存続意義について見直しを図る必要があるのではないか。</li> <li>・綾子舞は素晴らしい文化財であり、体制の整備だけでなく外部のエネルギー注入につながるPRが重要である。</li> <li>・Uターンを期待できる学生への情報発信については、進学時だけではなく、日常からの対応が重要ではないか。また、その親の啓発活動が重要である。</li> <li>・柏崎での移住経験がない人に対して転入を促すのではなく、移住経験がある人を長期間暮らしていただくことが効果的である。</li> </ul>
<p>他の分野や分科会に 関係する分野横断的な 事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インバウンド推進協議会があるが、市民の受入意識は低い状況であり、外国人を受け入れない宿もあるため、啓発の必要がある。 →産業・雇用分科会</li> <li>・新潟工科大学の市内入学者が減っていることを課題としているが、市外からの入学者増えていることに着目し、卒業後市内につなぎとめる施策を実施していくことが必要ではないか。第2章の雇用で若者・女性・障がいの就労支援に一括で捉えているが、大学卒業生は別枠で捉えた方が良いと考えるがどうか。 →産業・雇用分科会</li> </ul>
<p>次回分科会に持ち越し となった事項</p>	<p>特記なし</p>

## 第2回自治経営分科会 概要報告

内 容	概 要
<p>主な意見 質疑・応答</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・被爆者体験講演会は、小学生も対象にすべきだ。また、タブレットも活用したらどうか。</li> <li>・まちづくりや地域の活動に若い世代を参加させたいが、良い方法はないか。</li> <li>・地域活動の中で、外から来た者が目立ち過ぎにならないように、地域で育った人を中心に活躍してもらおう構図が良い。</li> <li>・市役所は未だに紙媒体が多く、ペーパーレス化を進めるべきだ。</li> <li>・安定した財政は、定住への誘導と観光が重要で中長期的視点が必要だ。柏崎は魅力あるまちだが、発信力が弱い。</li> </ul>
<p>他の分野や分科会に 関係する分野横断的な 事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女共同参画やワーク・ライフ・バランスの推進など、女性が活躍でき、住みたいと思えるまちづくりが都市間競争でも重要だ。 → 産業・雇用分科会</li> <li>・SNS時代に合わせた小学校からの人権教育が必要だ。 → 教育・スポーツ分科会</li> <li>・行政の空き施設を、創業支援に活用できないか。 → 産業・雇用分科会</li> </ul>
<p>次回分科会に持ち越しと なった事項</p>	<p>特記なし</p>